

平成27年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校名(八瀬小学校)
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日 平成28年2月26日	評価者・組織 全教職員	学校関係者評価
					分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策	評価日 平成28年3月16日
1 確かな学力	学び合いを通して、思考力・表現力の育成	「算数科」を中心に思考力と伝え合う力を伸ばす。 全学級年1回の授業研究	「進んで学習に取り組んでいる」は児童は若干下がった。ジョイン・ブレイジントプログラムは全市で平均より高い。	⇒	算数科の取組により、学力の向上が見られた。学校の勉強がよくわかると答えているのに、「進んで学習に取り組む」はポイントが減っている。自主的な学習については、個人差が大きく、宿題だけに終わってしまっている児童も多いようである。	授業はよく分かるが、意欲的に学習に取り組む気はない、進んで勉強する気にならないという児童の傾向がみられるので、わかりやすさとともに、学習の面白さや興味を持たせる指導の工夫を追及していく必要がある。	⇒ よくわかっている児童が多いので、授業の中で余裕がありすぎている。また、集中力が続かない児童もいる。よくわかっている児童への対応をしているが、今後さらに力をつけられるような授業の工夫を考えていく。
	読書の習慣化	朝のさわやか読書の実施 「お話し会」「ブックトーク」と100冊読書への啓発 家庭読書の啓発	読書ノートの活用と100冊表彰 図書館利用状況	100冊読書達成者は全校児童の40%。朝読書、お話し会やブックトークにより、図書館利用は多いが、家庭読書は伸びない。	⇒	⇒	少人数なので全員がわかるようにしたいという思いで担任は関わり、できている子への対応もしているが、今後さらに力をつけられるような授業の工夫を考えていく。
2 豊かな心	家庭学習の習慣化と充実	学級だよりによる家庭学習の啓発と学習方法の紹介	「家で(15分)×学年の勉強をする。」	前期に比べて児童はやや減っている。保護者は15%減っている。	⇒	⇒	⇒
	学校のきまりを守る規範意識の向上	学校のきまり「みんなが楽しく過ごせる八瀬小学校にするための10のやくそく」の徹底	「学校のきまりを守る」	学校の決まりを守っている児童は9割を超える。	⇒	⇒	⇒
3 健やかな体	自分も大事人も大事にする心の育成	毎月の「友だちの日」の取組 「友だちグループ」によるたてわり活動の実施	「自分から進んであいさつをする」「だれとでも仲良くできる」	「だれとでも仲良くできる」は9割を超えていて児童は100%。「あいさつ」につても随分増えてきた。	⇒	⇒	⇒
	豊かな体験を通した協働活動の実施	地域の方との協力のもと「田植え・稲刈り・野菜作り」等の栽培活動と『灯笼教室』等伝統文化活動の実施	「PTAや地域の行事に参加している」	行事への参加が約8割まで増えてきた。	⇒	⇒	⇒
4 独自の取組	基本的生活習慣の確立	長期休業明けの「生活リズム調べ」の取組 保健室だよりによる啓発	「早寝早起き朝ごはん」等規則正しい生活をする	児童の回答は80%に対して、保護者はやや減って75%。	⇒	⇒	⇒
	体力の向上	「ロング昼休みでの全校外遊びや部活動による運動の習慣化 中間ランニングの実施	「運動やスポーツを通して体力を高める」	保護者は変化はないが、児童は95%を超えてきた。	⇒	⇒	⇒
	情報発信の充実	全教職員による積極的なホームページの更新 学校だよりの地域への配布	「学校は、教育方針や取組の様子を学校だよりやホームページなどで分かりやすく伝えている。」 アクセス数	保護者の回答は90%を超えている。保護者ボランティアによる全戸配布の実施。	⇒	⇒	⇒

4 総括・次年度の課題

今年度は、「学校評価アンケート」をもとに子どもの姿について話し合うことができた。学力向上や子どもたちの様子については、いろいろな行事を通してよく見て関心が高かった。特に「あいさつ」については年間通しての話題になっており、これから成長して社会へ出していく子どもたちに、人として大切なことをしっかりと身につけさせてやりたいという思いが伝わってきた。また、子どもたち同士の関係についても、より良い仲間作りを目指す必要性があること、学習についてはより力を伸ばしていくために学習の工夫をしていくことについても熱心に話し合われた。子どものことについては、学校のことについては、惜しみなく協力していくとの思いを聞かせていただいた。来年度は、今年度の反省から引き続き「あいさつ」について、学校・保護者・地域で協力して朝の声掛けや行事での関わりを通して、より良い子どもの姿を目指して取り組んでいきたい。